

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 7 年度 白川・緑川河川管理施設監理検討業務
業 務 概 要	1. 計画準備 2. 点検結果整理及び対策工法検討 3. 点検結果の再評価 4. モニタリング及び重要監視箇所を検証 5. 河川維持管理情報の共有 6. 報告書作成 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式 1 式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 和田 賢哉
契 約 年 月 日	令和 7 年 9 月 8 日
契 約 業 者 名	令和 7 年度 白川・緑川河川管理施設監理検討業務北部九州河川利用協会・扇精光コンサルタンツ設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	福岡県久留米市宮ノ陣 3－8－8
契 約 金 額	1 0, 4 5 0, 0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	1 0, 5 7 1, 0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	熊本河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7 年 9 月 9 日
履 行 期 間 (至)	令和 8 年 3 月 3 1 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度 白川・緑川河川管理施設監理検討業務
2. 履行場所 熊本河川国道事務所管内
3. 契約の相手方 会社名： 令和7年度 白川・緑川河川管理施設監理検討業務北部九州河川利用協会
・ 扇精光コンサルタンツ設計共同体
住 所： 福岡県久留米市宮ノ陣三丁目8番8号
電 話： 0942-34-6733

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、白川及び緑川水系（直轄管理区間）における河川の維持管理を適切かつ効率的に行うことを目的として、過年度の河川管理施設及び河道の点検結果について再評価を行うとともに、各河川の現状や特性に応じた河川管理を実施していくための具体的な方策について検討を行う業務である。

2) 業務の内容

- | | |
|---------------------|-----|
| ・ 計画準備 | 1 式 |
| ・ 点検結果整理及び対策工法検討 | 1 式 |
| ・ 点検結果の再評価 | 1 式 |
| ・ モニタリング及び重要監視箇所の検証 | 1 式 |
| ・ 河川維持管理情報の共有 | 1 式 |
| ・ 報告書作成 | 1 式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、管理技術者の資格及び実績・成績は優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー・工程表・その他」において、目的・条件・内容を理解し、実施フロー・工程表の妥当性が高く工夫が図られていること、及び特定テーマ「白川及び緑川の河川特性を考慮した効率的な維持管理手法及びモニタリング手法について」に対する技術提案において、与条件との整合性及び有効性が高く、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 河川管理課長